

医療法人社団聖心会



阪本病院だより

No.12

<http://www.sakamoto-hosp.or.jp>

2013年5月

理 念

わたしたちは患者様の立場に立った全人医療を行い
地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します



平成25年4月より理事長職に専念いたします

医療法人社団聖心会 理事長 阪本一樹

平成4年以来、20年間にわたり阪本整形外科医院時代から院長を務めさせていただきました。平成11年に病院となってからはそれまでの整形外科に加えて、泌尿器科、外科、脳神経外科、皮膚科等の増科も行い、リハビリテーション科は四国でも有数の規模と内容となりました。

平成15年に医療法人社団聖心会を設立してからは「患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します」という理念の元、地域の外科系の救急病院として地域に貢献できるよう微力ながら努力して参りました。その間、地域の皆様や職員の地域医療に対する想いに支えられ、東讃地区の外科系の救急患者を可能な限り受け入れ出来るようになりました。

この度、長く理事長・院長を兼務してきましたが、4月より理事長職に専念し「地域医療」をより一層進めて行きたいと思っております。

新病院長には病院設立当初より地域の脳神経外科治療に尽力されてきた小川副院長にお願い致しました。小川新院長は今まで以上に病院理念を引き継いでいただき、より発展させてくれると思っております。

わたくしも、整形外科医師として引き続き診療は致しますが、今後とも小川新院長への皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



病院長就任のご挨拶

病院長 小川智也

このたび平成25年4月1日付けをもちまして病院長に就任いたしました小川でございます。これまでには副院長として脳神経外科診療に携わって参りましたが、この経験をもとに今後も地域の皆様に安心、信頼、そして満足していただける病院を目指して頑張りたいと思います。

想えば、私が阪本理事長の掲げる「全人医療に基づく地域医療への貢献」という理念に感銘共感し、この病院に赴任したのは平成13年10月のことであり、早や12年が過ぎようとしております。当時はまだ病床数36床ではありましたが、すでにグループホームやデイケアユニットを備えており、介護に対する意欲的な取り組みが非常に印象的であったことを覚えています。その後院内各所が改築されつつ病床数も徐々に増え、療養病棟増築により現在の108床の病院となりました。この間診療科も増え、リハビリテーションスタッフも充実しました。このような経緯の当院が今後どのようにすればより社会貢献出来るかを考えた場合、やはり地域における役割を明確にする必要があります。当院におきましては従来通り、急性期病院としての機能を果たしつつ、必要であれば大学病院等のさらに高度な専門性を有する施設への紹介がスムーズに行えるよう連携を深めていきたいと思っております。また長期の入院が必要であれば療養病棟で継続的な医療、積極的リハビリテーションを行い、患者様の一日でも早い家庭復帰、社会復帰を目指して参ります。退院後には近隣病院、診療所の先生方との病病、病診連携のもと、当院の理念であります全人医療を遂行していく所存です。

安倍政権がTPP参加表明をする等、現在の政治経済や様々な社会情勢からも、今後の医療を取り巻く環境は決して順風満帆な状況にないことは明白です。そのような中で病院に対する高い信頼感、満足感を得るためには、独自の病院ブランドを構築し、職員の意識改革やモチベーションの向上等、経営面での努力も必要なのですが、なにぶん慣れない事ばかりで戸惑うことも多々ございます。

是非とも皆様方の格別のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。





6時間人間ドックのご紹介

副院長 吉田 勇人

昨今健康に対する国民の意識は徐々に高まってきており、実際に病気を治療する臨床医学とともに、病気を未然に防ぐ予防医学がより重要になってきていると言われています。特にはっきりとした自覚症状がなくても、様々な検査を行うことにより、潜在的な異常が体内に見出されることがあります。これがいわゆる病気の早期発見で、症状が出現してから治療を開始するより、有利であることは明らかなです。このような観点から、当院では『人間ドック』の検査を皆様にお勧めしています。当院で日常的に行われている検査は、全てご利用可能です。基本的な人間ドックのコース(ご利用料金は¥70,000)を例示します。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① 問診・診察 | ⑧ 心電図 |
| ② 身体計測 | ⑨ レントゲン検査(胸部・腹部) |
| ③ 尿検査 | ⑩ 上部消化管内視鏡検査(胃ファイバー) |
| ④ 便検査(潜血検査) | ⑪ 下部消化管内視鏡検査(大腸ファイバー) |
| ⑤ 血液生化学検査(貧血・肝機能・腎機能など) | ⑫ 超音波検査(心臓・腹部) |
| ⑥ 腫瘍マーカー(胃癌・前立腺癌など) | ⑬ 呼吸機能検査 |
| ⑦ 糖尿病検査(糖負荷試験) | ⑭ 眼底検査 |

上記の検査項目であれば、午前中など6時間以内に終了可能ですし、これ以外にもご希望に応じ検査を追加もしくは削除できます。更に頭部MRI検査などを行ない、脳神経外科専門医が診断する『脳ドック』の併用も可能です。お問い合わせやご希望の方は、医師・看護師もしくは受付の職員などにお気軽にお申し付け下さい。



新任医師を紹介します

整形外科 八木啓輔 医師

平成25年4月より阪本病院に赴任してきました八木啓輔(やぎ けいすけ)です。平成11年に香川医科大学を卒業し、地元である徳島の徳島大学整形外科に入局しました。その後は徳島大学の関連病院である愛媛の四国中央病院、高知のJA高知病院、徳島の市民病院、大学病院、鳴門病院とまわり知識、技術の習得を行ってきました。こちらに来る3月までは高知赤十字病院に5年弱勤務しておりました。高知県は四国で一番面積も広い県で、東西に長くまた山間部なども多い

ので、近くに十分に救急治療を行える病院も少なく、高知市内にある救急病院に搬送されてくることが多くありました。そのため多くの救急患者さんを診察、治療する機会があり、外傷中心に手術や治療を行ってきました。現在、高齢化社会で高齢者の骨粗鬆症による骨折が増加しています。けがに対する治療はもちろん重要ですが、けがをしないようにする予防がこれからは必要とされています。手術だけでなくリハビリを含めた予防、治療を行っていきたいと思います。香川県は学生時に6年間住んでおり非常に愛着を持っている街です。しかし香川での勤務は初めてのなので懐かしい気持ちと新しい気持ちを持ってがんばりたいと思います。

よろしくお申しあげます。

新しく職員として迎えましたスタッフです



准看護師
青木 瑠美



准看護師
岡 友梨



医事課
澤田 絵里



理学療法士
石川 達三



理学療法士
井上 拓弥



理学療法士
福井 あかね



理学療法士
前川 綺香



理学療法士
三木 貴浩

各科外来一覧

2013年5月現在

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
泌尿器科	○	○			○	○	○	○	○	○		
皮膚科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
形成外科	○	○			○	○ 16:00					○	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乳腺内分泌科										○		
麻酔科(ペイン)						○						

診療時間は午前9時～12時30分、午後は1時30分～6時です。
 ※祝日・日曜日・年末年始(12/31～1/3)は休診となっております。但し急患の場合はこの限りではありません。※手術・学会出張等の理由で変更する場合があります。